

高速道路事故対応 訓練計画書



日 時 平成24年10月18日(木)

9:30~11:00

場 所 松山市井門町804番地 松山インターチェンジ内

西日本高速道路株式会社 四国支社

愛媛高速道路事務所 庁舎西側空地

松 山 市 消 防 局

《松 山 市 南 消 防 署》

1. 目的

高速道路上において、大型バス等を含めた多重衝突事故が発生、複数の傷病者を関係機関相互の連携により救出、救護し、協力体制の強化を図ることを目的とする。

2. 日時

平成24年10月18日（木） 9：30～11：00（小雨決行）

3. 場所

松山市井門町804番地 松山インターチェンジ内
西日本高速道路株式会社 四国支社 愛媛高速道路事務所 庁舎西側空地

4. 参加機関、車両台数及び予定人員

高速道路交通警察隊（高速警察隊）	1台	2名（昼間の初動隊）
NEXCO西日本	3台	5名（昼間の初動隊）
ジェイアール四国バス株式会社	1台	2名
愛媛県立中央病院	1台	5名
株式会社中川自動車商会	2台	2名
松山城南高等学校		20名
東温市消防本部	1台	3名
松山市南消防署	7台	33名

計 8機関 16台 72名

5. 想定

午前9時30分頃、松山自動車道路上り、松山・川内間において普通乗用車1台が運転操作を誤り、中央分離帯を乗り越え対向車線の大型バスと正面衝突、さらに大型バスに後続車両が追突する多重衝突事故が発生する。

6. 訓練の重点目標

- (1) 交通規制、道路閉鎖等の初動体制の確認
- (2) バス等の大型車両の多重事故発生時の救助対応
- (3) 多数傷病者事故発生時の各機関との連携

7. 訓練内容

- (1) 会場設営及び訓練車両の待機場所への移動を9時15分までに完了させ、訓練参加者は訓練前集合場所（管理棟西側）に集合する。
- (2) 待機車両に乗車後、訓練開始の合図で合同訓練を開始する。出動順は高速警察隊、NEXCOWest日本、南消防署隊、東温消防隊、人員搬送車、ドクターカー、中川自動車商会の順番で出動する。
 - ※ 消防車両は、先着NEXCOWest日本の指示に従い、一旦、追越車線側に全車停車する（走行車線への停車不可）。NEXCOWest日本が一般車両の現場通行止を完了し、高速警察隊が消防署隊へ進入を指示した後、消防車両は事故車両に直近移動する。（3機関による申し合せ事項を検証）
- (3) 中川自動車商会の事故車両搬送訓練をもって訓練終了とする。その他の車両及び資器材等はそのままで、講評の隊形に整列する。
- (4) 南消防署長講評及び西日本高速道路株式会社 四国支社 愛媛高速道路事務所 所長挨拶
- (5) 各機関の車両説明及び車両見学等を実施する。（訓練参加者、見学に来ている幼稚園児）
- (6) 解散

8. 注意事項

- (1) 高速道路上での災害発生時には訓練を中止、中断し災害出動を優先する。それ以外の出動は留守隊により対応する。
- (2) 訓練中は赤色灯、回転灯を使用しサイレンの吹鳴も可能とする。
- (3) 消防隊はホース延長し、実放水を実施する。
- (4) 救助隊は救助資器材をエンジン始動し、実際に訓練用乗用車の切断等を実施する。
- (5) インター料金所を通過した消防車両は、訓練開始前に無料手続きをする。
- (6) 訓練準備者については事前に調整するものとする。
- (7) 訓練中は事故防止に万全を期すること。

9. 訓練資料

- 資料1 付近見取図
- 資料2 活動図面
- 資料3 訓練時系列

以上